

SPAC祝祭音楽劇の原点！10年ぶりの上演で25周年のシーズン幕開け！

SPAC秋→春のシーズン2022-2023 #1

『ペール・ギュント』

俳優による生演奏と、巨大なすごろく盤の美術が圧巻の舞台

平素より、SPAC-静岡県舞台芸術センターに格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

SPACでは、「秋→春のシーズン」と題し毎年10月から3月にかけて、古今東西の名作戯曲を、芸術総監督・宮城聡と国内外の注目の演出家たちによる現代演出で連続上演しています。25周年を迎えた今年度のレギュラーシーズンは、SPAC×宮城の初期の大作『ペール・ギュント』で開幕し、新作3本が続きます。

「SPAC秋→春のシーズン2022-2023」

#1	10-11月	『ペール・ギュント』	[再演]	演出:宮城聡 / 作:ヘンリック・イブセン
#2	11-12月	『守銭奴 あるいは嘘の学校』	[新作]	演出:ジャン・ランペール＝ヴィルド / 作:モリエール
#3	2023年1月	『リチャード二世』	[新作]	演出:寺内亜矢子 / 作:ウィリアム・シェイクスピア
#4	2023年2-3月	『人形の家』	[新作]	演出:宮城聡 / 作:ヘンリック・イブセン

■SPAC×宮城聡の祝祭音楽劇『ペール・ギュント』、10年ぶり待望の再演！

2010年に初演された宮城聡演出の『ペール・ギュント』は、12年に世界三大演劇祭の一つとも言われる「イベロアメリカ国際演劇祭」(コロンビア・ボゴタ)から招聘を受けるなど、SPAC「祝祭音楽劇」第1弾として喝采を浴びた作品です。戯曲が書かれた1867年は、ちょうど日本では明治維新の頃。宮城は、ノルウェーの片田舎から飛び出し世界中を駆け巡るペールの物語を、海外に出ていこうとする「明治期の日本」と重ね合わせ、日本という国のアイデンティティの話へと読み替えました。宮城が捉えた「日本という国の姿」を、10年の年月を経てより豊かな表現力を手にした俳優たちが、色鮮やかに演じます。

■大編成の打楽器演奏、「すごろく盤」をモチーフにした巨大な舞台美術は必見。

「祝祭音楽劇」と呼ばれる本作の大きな見どころの一つは、俳優たちによる生演奏の音楽です。棚川寛子の壮大で心躍る音楽を、大編成の打楽器隊が疾走感溢れる演奏でお届けします。そしてもう一つの見どころは、「すごろく盤」をモチーフに創られた巨大な舞台美術です。舞台機構を生かした様々な仕掛けは観客の驚きを誘い、物語が進むにつれ、主人公ペールの成長や老いと共に舞台装置も変化していくさまは圧巻です。どうぞご期待ください。

■宮城聡の斬新な演出で生まれ変わるイブセンの2大戯曲、連続上演！

今シーズン宮城が演出を手掛けるのは、ノルウェーの劇作家ヘンリック・イブセンの2大戯曲。開幕を飾る本作と、シーズンのラストを飾る新作『人形の家』です。前者は韻文、後者は散文で書かれており、イブセンの作品の中でも対照的な2つの戯曲であり、宮城がイブセンをどのように捉え、演出するのか注目されます。世界の名作を複数見比べることができるのも、SPACのシーズンプログラムならではの楽しみ。宮城が満を持して手掛ける『人形の家』も合わせてご覧ください。



ペール・ギュント [2010年初演]

演出:宮城聡 / 作:ヘンリック・イブセン / 翻訳:毛利三彌

音楽:棚川寛子 / 美術デザイン:深沢襟 / 衣裳デザイン:竹田徹

出演:武石守正、池田真紀子、石井萌水、大内智美、春日井一平、河村若菜、榎原有美、桜内結う、佐藤ゆず、杉山賢、鈴木真理子、館野百代、牧山祐大、森山冬子、吉見亮、若宮羊市、渡辺敬彦

★静岡公演

■公演日:

10月8日(土)、9日(日)、29日(土)、30日(日)

11月5日(土)、6日(日) 各日14:00 開演

■会場:静岡芸術劇場(グランシップ内)

■主催・製作:SPAC-静岡県舞台芸術センター

★磐田公演もごさいます

磐田市民文化会「かたりあ」開館特別公演

■公演日:10月21日(金)18:30 開演

■会場:磐田市民文化会「かたりあ」

■主催:磐田文化振興会

■共催:磐田市

■後援:磐田市教育委員会

プロフィール



©加藤孝

演出: 宮城聰(みやぎ・さとし)

演出家。2007年SPAC芸術総監督に就任。自作の上演とともに世界各地から現代社会を鋭く切り取る作品を紹介、また県内各地でのアウトリーチ活動にも力を注ぎ「世界を見る窓」としての劇場運営を行う。代表作に『王女メデシア』『マハーバーラタ』『アンティゴネ』など。K-mix(静岡FM放送)レギュラー番組「宮城聰の頭のなか」出演中。

静岡公演チケット <好評販売中!>

●料金(税込/全席指定)

一般:4,200円

ペア割引:3,700円(2名様で1枚につき)

ゆうゆう割引:[満60歳以上]3,500円

学生割引:[大学生・高校生]2,000円

[高校生以下]1,000円 *その他割引あり

●お問い合わせ・チケット購入方法

SPACチケットセンター TEL:054-202-3399

(10:00~18:00, 休業日10/18を除く)

ウェブ予約 <https://spac.or.jp/ticket>

主催・製作:SPAC-静岡県舞台芸術センター

助成:文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)|独立行政法人日本芸術文化振興会

中高生鑑賞事業公演「SPACeSHIPげきとも！」

SPACでは「劇場は世界を見る窓である」という理念のもと、平日には静岡県内の中学生・高校生を対象とした招待公演を行っています。本作の中高生鑑賞事業公演では、17公演で約2,510人の中高生が来場予定です。一般の方がお入りいただける日程もございます。詳細は公式サイトにて。

関連企画(静岡公演)

<アーティストトーク>

ゲストを招いてトークを開催いたします。

10月8日(土)終演後 参加無料/予約不要

ゲスト:国枝学(株式会社NTT ArtTechnology 代表取締役社長)

出演:宮城聰(SPAC芸術総監督・演出家)

<プレトーク>

一般公演日の開演25分前より、2Fカフェ・シンデレラにて。舞台をよりおもしろく観劇できるポイントをご紹介します。

<バックステージレクチャー>

終演後にSPAC創作・技術部スタッフが舞台裏を解説。

10月29日(土)、30日(日)、11月5日(土)、6日(日)

所要時間:約30分 参加無料/予約不要

<はじめてのイブセン講座>

SPAC文芸部の大岡淳が、ご観劇前にイブセン作品の魅力をご紹介します。

観劇が初めてでない方もご参加いただけます。

10月9日(日)12:30~13:30 参加無料/要予約

*定員に達したため、受付を終了しました。



©橋本武彦



©中尾栄治

『パール・ギェント』(2010年/写真:橋本武彦、2012年/写真:中尾栄治)